

もくじ

2人びとのしごととわたしたちのくらし

よく行く店

(1)わたしたちのくらしと商店しょうてん



①スーパーマーケットではたらく人

みんなで、家でよく買いものに行く店をしらべました。1週間の間、どの店に何回行ったかしらべて、けっかを、地図にしるしをつけてまとめました。



「わたしの家では、近くの商店がいちばん多かったわ。」



「ぼくの家では、スーパーマーケットに、5回も行ってたよ。」

きんじよ
近所のさかなや



夜もあいている店



1週間、家の買いものしらべをして、けっかを地図にあらわしてみましよう。

よく行く店を発表しあったけっか、家によってちがうことがわかりました。

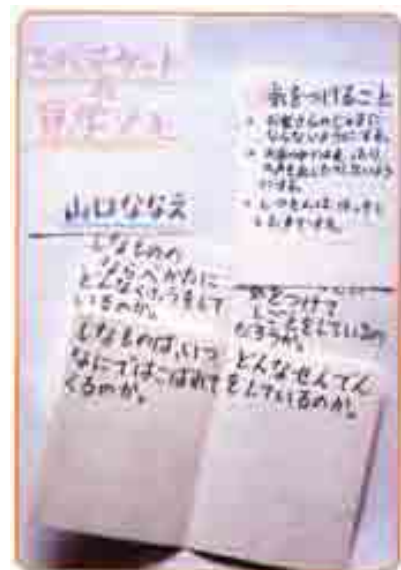
みちかな店について、くらしとどのようにつながっているかしらべましよう。

見学に行こう

しらべてみると、いちばんよくりようされている店は、バイパスぞいにあるスーパーマーケットでした。

みんなで、どうしてよくりようされているのか、話し合いました。けれども、よくわからないことが、つぎつぎに出てきました。

そこで、じっさいにスーパーマーケットを見学してしらべることになりました。ひとりひとり見学メモをつかって、しらべてくることやよそう、気をつけることなどをかきこみました。

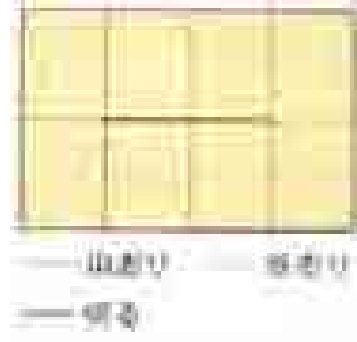


(1)スーパーマーケット

スーパーマーケットの見学の計画を立てましょう。

▼見学メモの作り方

- ①スーパーマーケットでしらべたいことを出し合う。
- ②同じようなものは、ひとつにまとめて、せいりする。
- ③しらべ方を考える。
- ④気をつけることを話し合う。
- ⑤見学メモをつくってかきこむ。



スーパーマーケットのしなものを売るためのくふうをしらべる見学メモをつくってみましょう。



みんなで、店の中を見学しました。店の人のあんないで、売り場のおくにあるドアの中にも入ってみました。売り場でも、ドアの向こうでも、たくさんの方がはたらいていました。店の人に、インタビューしてみました。

やさいを切るおばさんの話

しなものがきれいにみえると気持ちがいいわね。



お客様によるこんで買ってもらえるようレタスやキャベツなどは、ひとつひとつ、外がわのよごれている葉を切ってからつつんでいます。
1こでは大きすぎるお客様のために、半分に切ってパックにつめることもあります。

レジのおねえさんの話

きかいがしなものにはられたバーコードというのを読みとって、計算しています。お客様に、買いにきてよかったと思ってもらえるように、とくに、あいさつに気をつけています。



サービスカウンターの人

しなものをつつんだり、お客様のいけんをきいたりしています。
お客様の気持ちになって、えがおでお客さんのねがいをかなえられるように気をつけています。



しなものをならべている人



せんでんひょうじをつくる人



てんちよう 店長さんの話



お店にしなものをならべるとき、気をつけていることは、しんせんさときせつかんをだすことです。

しなものは、魚やにくが 400 しゅるい、くだものややさいが 150 しゅるい、デイリー食ひんが 800 しゅるい、かこう食ひんが 2900 しゅるい、日用ひんが 8000 しゅるいあります。

はたらいっている人は、魚、にく、やさいなどをあつかっている人が 51 人、デイリー食ひんやかこう食ひんをあつかっている人が 25 人、日用ひんやふくをあつかっている人が 40 人、レジの人が 55 人、じむの人が 16 人、あわせて 187 人です。

デイリー食ひん

とうふやなっとう、パン、牛にゆうなどのように、その日のうちに売られる食べもの。

かこう食ひん

おかしやかんづめ、コーヒー、のりなどのような食べもの。

スーパーマーケットを見学して

大山なお子さんのかんそう

わたしは今まで、レジのおねえさんや、売り場の人しか知りませんでした。でも、スーパーマーケットの中では、たくさんの人が、みえないところでもいろいろなしごとをしていることがわかりました。

このお店では、およそ 190 人がはたらいっていると聞いて、わたしはびっくりしました。店の人に、しごとのくろうやくふうを聞いてみましょう。

たくさんのお客さん



「近くにあるからとか、ねだんが^{やす}安いからというだけで、たくさんのお客さんが来るのだろうか。」

いちろうくんたちは、ほかにも、お客さんにとっていいことがあるのではないかと考えて、しらべてみました。

お客さんに、この店に来たわけを聞いてみましょう。

お客さんのいけん

・大きな道路のそばにあり、広いちゆう車場があるので、遠くからも自動車で買いものに来ることができる。

・いろいろなしゅるいのしなものを売っているので、自分のこのみに合ったものを、えらぶことができる。

お店の人のいけん

・しなもののせんでんが、とても大切だ。とくに、新聞にはさんでくるちらしは、月に 3 回くらい、1 回に 4 万まいもくばる。

・しんせんなしなものを、食べてもらえるようつくりたてのものをうることが大切だ。

お客さんやお店の人に聞いたけっか、ほかにもいろいろなわけがあることがわかりました。

ちゅう車場



つくった時間を知らせる



町の人びとのねがいにこたえて、どことなくふうをしているのでしょうか。

町の人びととともに

あき子さんたちは、見学のとちゅうで、「リサイクルコーナー」を見つけました。



「トレーや、牛にゅうパックをあつめて、どうするのかしら。」

ふしぎに思ったので、店長さんに聞いてみることにしました。

スーパーマーケットのリサイクルコーナー



さいせいし
再生紙でつくったちらし



店長さんの話

さいきん、自然や町の美しさをまもりたいとねがう人がふえてきました。

牛にゅうパックやトレーなどは、店であつめてリサイクルしてほしいという声がお客さんからだされたのです。

それから、エコマークのついたしなものをすすんであつかっています。また、けんこうによい食ひんにも力を入れています。

店は、しなものを売るところです。そのためには、町の人びとのねがいに答えていくことも大切なのです。

しなものは、どこからおくられてくるのでしょうか。

しなものが、どこから来ているかわかるものを見つけてみましょう。
トラックでおくられてくる



しなものが生まれたまち



「店のしなものは、みんなわたしたちの市でつくられているのかな。」



「どこでつくられているんだろう。遠くからも来ているのかな。」

みんなで、おもにやさいやくだものをしらべてみました。



「しなものがどこでつくられたかわかるものがありますよ。よくさがしてみ
ましょう。」

しらべてみると、わたしたちの市でつくられているものは少なくて、ほとんどが、よ
その^{けん}県や^{がいこく}外国からおくられてきたものです。

しなものはどこから来るか(りょうくんたちのまとめ)

